

地域公共交通の課題

南越前町の地域および公共交通の現況、アンケート結果に基づく住民ニーズ、総合計画における方針を踏まえ、地域公共交通の課題を4つの視点で以下のように整理します。

課題1．地域間格差の是正

各地域のバスは、運行目的（福祉・コミュニティ・診療）が統一されておらず、誰もが様々な目的で自由に利用できるバスとしての運行が必要です。

各地域のバスは、運行サービス水準（運行日数・便数・料金）が統一されておらず、地域間格差（住民の不公平感）の解消が必要です。

課題2．効率的で持続可能な運行

今後も移動制約者の“足”として、JR北陸本線と福鉄バスとの連携に配慮した地域公共交通の維持が必要です。

利用者が少ない路線や便は、地域特性や路線の役割に応じた効率的なサービス提供方法の再考が必要です。

バス路線維持のための財政負担が多く、重複路線の解消や運行財源の確保が必要です。

課題3．利便性・快適性の向上

買物弱者への支援や地域活性化などの観点から、各地域から生活利便施設が多く立地する地域へ移動可能な路線、3地域間を繋ぐ路線の新設が必要です。

日常生活に不可欠な生活基盤として、住民ニーズに応じた利便性と快適性の向上が必要です。

課題4．地域公共交通に対する意識の醸成

環境および交通事故への配慮から、過度な車利用から脱却して、住民が適切な交通手段を選択する意識の醸成が必要です。

バス利用者が減少しているなか、運行に対する住民の当事者意識が低いため、自発的な活動を行う環境づくりが必要です。